(様式3) 【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	隠岐の島町立 西郷中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	町づくりに参加しよう	隠岐の島町役場都市開発課 西郷港周辺地区デザインコンペ
		西郷港周辺地区デザインコンペに参加を通して、町づくりについて学び、課題に気付くとともに町を良くするためにはどのようにしたら良いのかを考える。	

## 1 取組の概要

隠岐の島町で開催された、西郷港周辺地区デザインコンペを通して町づくりについて考えた。どんな町に変わってほしいのか考え、デザインコンペの作品を見ながら隠岐の将来にとってどんなデザインが良いのかを考え、実際に投票を行った。役場の担当者の方やデザインコンペの審査委員長を招き、町づくりについて思いを話してもらったり、一緒に考えたりしていくことで、隠岐の良さや課題などを考えることができた。デザインコンペの投票に参加することで、自分たちも地域の一員であるという自覚を持つことができた。

- 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用 したか。(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
- ・西郷港周辺地区デザインコンペの投票に参加することで、地域の一員であるという意識を 持てるように工夫をした。
- ・役場の担当者や審査委員長の話を聞くことで、どのような思いで町づくりが進められているかを知るとともに、自分たちが大人になったときにどんな町になっていてほしいかを考えられるようにした。
- 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
- ・はじめは商業施設がほしいと考える生徒が多かったが、授業を通して《自分が欲しいもの》という 視点から《みんなが快適に過ごせるもの》に変わっていった。
- ・見た目だけにこだわらず、隠岐の良さを活かすことも考えられるようになっていった。
- ・自分だけでなく自分が親となったときより良く過ごすためにはどうするのかなど、先を見据えた考えを持つ生徒もいた。

## 4 課題や今後の展望

・デザインコンペという企画を通して役場と協力して町づくりを考えることができた。この企画は今回限りのものだが、今後も地域の方と協力して隠岐の島町について考え、自分たちの人生設計の参考になればと思う。







